（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピース玉串店			
○保護者評価実施期間	R7年　2月　1日	～	R7年　4月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	48名	（回答者数）	34名
○従業者評価実施期間	R7年　2月　1日	～	R7年　4月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	17名	（回答者数）	17名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　4月　21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	URの集会場を使用し、広いスペースで活動ができていること。	運動療育や、ダンスなど人数が多くても、余裕をもって体を動かすことができる活動提案ができています。 施設内でできないような活動も集会場を利用することで可能なため、活動の幅を広げられるようにしています。	さらに充実を図るために、UR内の公園での活動や、広いスペースを活かした活動提案を行っていきます。
2	多機能型の事業所であるため、年齢層の幅も広く、異年齢層の関わりを多くもつことができ、切れ目のない支援ができることで退所される利用者さんが少ない。	活動時に年上の児童が幼少児童のサポートを行うことができるように、グループ分けの工夫を行っております。 小学校・中学・高校とスムーズに就学移行ができるように、相談支援員さんや学校と細かく連携を図っております。	更にご家族さまに寄り添った支援を行き、利用の最後まで見れるような支援を行いたいと思っております。
3	事業所近くに畑があり、児童達が種植えから収穫までの食育ができること。	雨で畑に行けない際には、野菜クイズ等を行い、苦手な野菜のいいところなど、食べ方の工夫などの話を行っています。 農業の活動に参加できない児童でも収穫ができるように、空き時間に収穫へいけるよう時間調整をしております。	子ども達が育てたいものの聞き取りを行い、育てていきたいと思っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流の機会が中々持つことができていないこと。	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会」を活動として提供できていないこと。	季節ごとのイベントなどに地域の子どもも参加できるような活動提案をしていきたいと考えております。
2	保護者同士の交流の場が年に1回の保護者会でしかなく、希望日の聞き取りも行い日程調整を行っているが参加が難しい方も多くいること。	保護者会自体が年に1回だけなので、予定調整が難しい。	保護者会とは別に、保護者やきょうだいが参加できるイベントや参観のような日を定期的に設け、交流することが出来る機会を作っていく。
3			